

衆議院憲法調査会 傍聴記

10月2日、テロ特措法延長の特別委員会と並行して開催された衆院憲法調査会は、中山会長から「米国、カナダ、メキシコ憲法調査」の報告に続いて、委員間での自由討議が行われた。

3カ国の調査報告では、米国のアーミテイジ国務副長官の「日本が安保理の常任理事国入りするためには、集団的自衛権の問題について根本的な決断をしないと難しいであろう。憲法9条についての内閣法制局の解釈は、もっと柔軟であってよいのではないか。しかし、それは、あくまで日本が決定すべき問題である。」との発言が紹介された。

メキシコ調査報告では、メキシコの対米国外交姿勢に興味を持った。

「国境を接する超大国、米国と対等の関係を保つために、国家の安全に関して主権制限にかかわるような国際条約には加入せず、PKOにも一人も兵士を出していない。」(セラノ教授、ブルゴア名誉教授)

「現在の世界情勢は米国一国のヘゲモニー体制に傾いているが、メキシコとしては、米国に対してもノーと言うべき時がある。」(ソラーナ元外務大臣)

各国は、その歴史を反映して、憲法に「戦争と平和」をどのように規定するか異なっているが、報告書を丹念に読んでみたいと思った。そして、議員達は何を学んだのか詳しく知りたいと思う。また、米国調査が、アーミテイジ発言に代表されるように、米国の改憲を求める政治的アピールに利用されてはならないだろう。

自由討議では、憲法の焦点である9条について各党の姿勢が明確に出され、イラクへの自衛隊派遣について以下のような意見が出された。

改憲、あるいは拡大解釈する意見として、自民、保守新党、公明から発言があった。

自民党議員：「一国平和主義を改め、9条2項の削除、個別的・集団的自衛権等の憲法への明記を検討すべきである。憲法改正のための国民投票を制定したい。」

公明党議員：「イラクへの自衛隊派遣に反対する声があるが、9条を日本が危ないことをしないための口実としているのではないか。9条の改正を議論する前に、まず、その解釈について、国際社会の常識と乖離しない方向で適正な解釈を確立すべき。」

これに対して、9条の平和理念を護り、現実政治の乖離を厳しく指摘する意見として、社民党の北川・金子両議員から発言があった。

北川れん子議員：「軍事力で問題は解決できないことから、平和憲法の理念の下で今ある問題をどう解決すべきかを議論すべき。」

金子哲夫議員：「現時点において、改めてイラク戦争が何であったのかを、その根拠・正当性を含め、冷静に検証し、その上で憲法論議を行うべきである。米英により占領されているイラクへの自衛隊の派遣や、集団的自衛権行使を9条の解釈変更によって容認することは、立憲主義の見地から極めて問題。武力でなく話し合いや国際協調による問題解決が憲法の指し示す道である。」

論憲・創憲の立場の民主党議員からは、9条とイラク戦争についての明言はなかった。

憲法調査会が設置されて、3年9ヶ月が経過した。相変わらず、議員の出席率は悪く、開会から2時間たった午前11時には、自民の出席者はわずか4名と空席が目立った。

自由討議も、議論がかみあって深まるということもない。改憲派の人々は、改憲のために5年間の政治日程をこなしているように見える。

イラク戦争という現実、武力で問題は解決しないことを明らかにした。金子議員が指摘するように、戦争を冷静に検証し、憲法論議を行うべきだ。

小泉総理は自民党結党50年に合わせて、改憲案を提案するとしている。

「平和憲法・9条を護る」私たちの活動も正念場を迎えていると痛感した。

戦争にNO! ピースウォーク

11月8日(土) 午後3時集合
船森公園(京王八王子駅より3分)
(毎月第2土曜日に行っています。)
どうぞ、ご参加下さい。

お知らせ

ボウリング・フォー・コロンバインを観る会

2003年アカデミー賞を受賞したマイケル・ムーア監督のアメリカの銃社会に迫るドキュメンタリー映画。

日時：11月7日(金) 午後6時30分より
場所：八王子市クリエイティブホール11階・視聴覚室
資料代：500円 ■主催：Please No War 市民の会

社会新報

Social Democratic Party
発行所
社会民主党全国連合機関紙宣伝局
週刊(水曜日発行)
号外
〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1
電話代番03(3562)1171・編集部042-1-3203
●定価 180円 ●1ヵ月 700円 ●送料 180円

八王子市議会議員

2003年10月24日発行

井上むつ子 活動報告

<http://www.inouemutsuko.net>

〒192-0904 八王子市子安町4-28-11-201 TEL&FAX 0426-26-6435 e-mail: info@inouemutsuko.net

憲法の命運を決する総選挙

紅葉の季節になりました。各地で文化祭や運動会が開かれています。八王子市立夢美術館が、八日町にオープンしました。小さな規模ですが、身近な市民の美術館として発展するよう願っています。

4月の市議選では大きなご支援を頂きありがとうございます。元気に活動しています。

いよいよ、総選挙です。社民党は、議案提出ができる21議席以上の確保をめざしています。東京では5名を擁立する予定です。

小泉内閣は、アナン国連事務総長も「無法な武力行使だ」と批判したイラク戦争を支持し、イラク復興支援という名目の戦費を、来年約1,650億円、4年間で約5,500億円の拠出を決めました。また、年内に自衛隊をイラクに派遣することを示しています。

小泉首相は国会で、国民に対して一切の責任ある説明を行っていません。国民をないがしろにしています。構造改革によって雇用の不安が広がり、厳しい生活を余儀なくされている国民の税金を、ブッシュ大統領への協力のために使うことは許されません。大切な税金は、年金や失業保険など国民のセーフティネットにこそ使われるべきです。

日本は、平和憲法の精神を踏みにじて、戦争のできる国への危険な道を選択する岐路に立っています。日本国憲法の命運を決する総選挙です。

日本国憲法9条を守るため、全力でがんばります。そして、高齢者や子どもたちの人権が大切にされ、強い者だけが勝ち残る社会ではなく、互いに支えあって生きる社会の実現のため、力を尽くします。

井上 むつ子



議会での所属

- 総務企画委員会
- 少子・高齢化対策特別委員会
- 都市計画審議会
- リサイクル公社評議員会
- 南多摩斎場組合議会



2003.5.3 日比谷公園・憲法集会



毎月第2土曜日のピースウォーク、船森公園にて



市が運営する「八王子原爆資料館」にて